

令和6年度入学 総合政策研究科 博士前期課程 一般（第2次募集）試験問題の出典
専門科目 一般

種別	大問番号	著者名	著作物名	書名等	版元
専門科目	2	岩手県環境保健研究センター	イヌワシの危機的現状	https://www2.pref.iwate.jp/~hp1353_1/shizen/inuwashi/crisis.htm より 一部改変	岩手県環境保健研究センター

岩 手 県 立 大 学 大 学 院
総 合 政 策 研 究 科
博 士 前 期 課 程

令和 6 年度(第 2 次募集)

入学試験問題

専 門 科 目

志願区分：一 般

注意事項：

1. この試験は、10 時 00 分から 12 時 00 分までである。
2. 「始め」の合図があるまで、問題を見てはいけません。
3. 試験中に、問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合には、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
4. 解答は、黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入しなさい。万年筆、ボールペン等は使用してはいけません。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

専門科目

注意事項：

1. **1**から**6**の6題のうち、2題を選んで解答しなさい。また、選んだ問題番号を解答の最初に明記しなさい。
2. 解答は、問題別にそれぞれ別の解答用紙に書きなさい。
3. 各解答用紙の所定の欄に、志願区分、受験番号および氏名を記入しなさい。

- 1** 水域と陸域が接する部分は水辺エコトーンとして生物多様性への寄与を含め、様々な機能がお互いに関連し合いながら発揮される。生物多様性への寄与以外について2つ取りあげ、その機能が発揮されるメカニズムを説明すると共に、その機能が生物多様性にどのように関連するかを600字以内で示しなさい。

2 下記の課題文を読み、以下の問いに答えなさい。

- (1) イヌワシの生息を脅かしている主な要因を課題文から2つ取り上げ、それぞれの要因が日本の生物多様性の4つの危機のどの危機に該当するかについて120字以内で記しなさい。
- (2) イヌワシの繁殖成功率の低下について、その要因として考えられることを、イヌワシの性質やその背景にある事柄を含めて課題文から整理し、これらの問題点の解決方法について、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

課題文

現在、日本のイヌワシにおいて最も大きな問題とされているのが、繁殖成功率の低下です。繁殖成功率とは、全つがいのうちヒナが巣立ちしたつがいの割合で、1990年代以降、全国的に低下が見られており、現在も低い状態で推移しています。このままの状態が続くと、次世代を担う個体が不足し、個体数の縮小や絶滅が心配されます。

(中 略)

繁殖率が低下している理由には、まだ明確でない部分もありますし、さまざまな要因が複合的に関わっている可能性もありますが、主要な原因としてあげられるのが「採餌環境の不足」です。これは、伐採や管理が行なわれない林地が増加した結果、密生した木々が山を覆ってしまい、イヌワシが餌捕りに利用できる開放的な環境(伐開地、若い植林地、草地など)が少なくなったというものです。実際、行動圏内に採餌に適した環境が乏しいつがいほど、繁殖成功率が低い傾向が見られています。

この背景には日本の林業の不振があります。採算が合わないため主伐や間伐が行なわれず、放置される森が増えています。管理不足で樹木が密生した森では、餌動物がいてもイヌワシが上空から急降下して捕らえることが難しくなります。また北上山地では、かつて農耕馬の飼養のために多くの採草地が維持され、イヌワシの好適な餌場となっていました。しかし、農耕馬の需要のない今では、採草地も少なくなりました。

今日見られる近代的な牧野は、イヌワシの餌場としてある程度の機能を果たしていると考えられます。しかし、集約的に管理された広大な牧野には、ノウサギなどの餌動物が好む粗放的な草地や、林と接している環境(林縁部)が乏しいため、餌動物のすめる場所があまり多くないことが指摘されます。十分な餌量が確保できない親鳥はヒナの養育もできませんし、それ以前に自らが産卵に必要な栄養状態になれなかったり、採餌のために繁殖活動を開始する余裕がなくなったりすることもあると考えられます。

(中 略)

開発等による生息環境の消失は多くの生物の脅威となっていますが、イヌワシも例外ではありません。とくに山間地のダム、スキー場などのリゾート、大規模林道、採石場などの建設は、イヌワシの生息可能な環境を大きく失わせることになります。近年はとくに、大規模な太陽光発電施設の建設が増えています。

(岩手県環境保健研究センター『イヌワシの危機的現状』,

〈https://www2.pref.iwate.jp/~hp1353_1/shizen/inuwashi/crisis.htm〉より,一部改変)

3 ある河川に設置された取水堰が老朽化のため全面的に改修されることになり、あなたは現地に生育する植物の保全計画の策定を託された。生育する植物（標準和名）を想定して明記しつつ、以下の3つの視点をふまえて、600字以内でその計画内容を述べなさい。

- (1) 取水堰の改修工事が生育する植物に及ぼす影響
- (2) ミティゲーションにもとづく保全計画遂行の手順
- (3) 関係者との調整

- 4 地域や都市の問題・課題は複雑・多様である。例えば a.～o. も重要なテーマの一つであろう。a.～o. のテーマから 5 つ以上を含ませ、最初に取り扱う都市（地域）の現状を示した上で、地域や都市の問題・課題解決について 1200 字以内で論じなさい。その際、具体的な都市（地域）を設定してもよいし、架空の都市（地域）を設定してもよい。

a. 少子高齢化 b. 人口減少 c. 空き家問題 d. コミュニティ衰退 e. 防災 f. 防犯 g. 景観
h. 中心市街地再生 i. 経済 j. 観光 k. 環境 l. 教育・子育て環境 m. 歴史・伝統
n. 食の安全 o. 多死社会

5 2023 年 1 月 12 日付の The New York Times で、52 か所の 2023 年中に行くべき場所の一つとして、世界各国の都市の中から「盛岡市」が紹介された。今年、2024 年も同様に「山口市」が挙げられた。これらのことについて、以下の (1)～(3) を解答しなさい。

(1) これらの記事で、それぞれの都市の特徴はどのように示されたのか、それぞれの地域について挙げなさい。

(2) それぞれの都市の、県内での位置づけ、気候、文化、風土、歴史などについて 500 字以内で説明しなさい。

(3) このような報道がその地域に与える影響について、良い点と悪い点について示し、悪い点については、その対応方法や解決方法を含めて、全体で 800 字以内で述べなさい。地域性による違いがある場合は、その点も記述することが望ましい。

6 2011年に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）からの復興事業の一環として、岩手県では沿岸部立地都市の北端から南端までの各自治体を接続する「三陸沿岸道路」という「復興道路」、県庁所在地である盛岡市と沿岸北部の中核都市である宮古市を接続する「宮古盛岡横断道路」と、花巻空港および新幹線停車駅を有する花巻市と沿岸南部の中核都市である釜石市を接続する「東北横断自動車道釜石秋田線」という「復興支援道路」が整備された。これらの道路は自動車専用道路であるが、高速自動車国道とは異なり、無償で利用が可能な高規格幹線道路となっている。この背景を踏まえて、以下の問いに答えなさい。

- (1) このような高規格幹線道路を整備することによって、災害が起きていない「平常時」にどのような効果が期待できるのか 200 字以内で説明しなさい。
- (2) このような高規格幹線道路を整備することによって、地震・津波といった「災害発生時」にどのような効果が期待できるのか 200 字以内で説明しなさい。
- (3) 前述の (2) の内容を踏まえつつ、このような高規格幹線道路等が整備されずに、次の大災害が発生した場合、被災地でどのような課題が生じるか、また、その課題を解決するために、高規格幹線道路を整備する以外に、どのような解決策が実施しうるか、300 字以内で説明しなさい。